

様式第4のハ (第4条、第5条関係)

屋外タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要					
貯蔵する危険物の概要		引火点	℃	貯蔵温度	℃
基礎、据付方法の概要					
タンクの構造・設備	形状	常圧・加圧 (kPa)			
	寸法	容量			
	材質、板厚				
	通気管	種別	数	内径又は作動圧	
		mm kPa			
	安全装置	種別	数	作動圧	
		kPa			
液量表示装置			引火防止装置	有・無	
不活性気体の封入設備			タンクの保温材の概要		
注入口の位置		注入口付近の接地電極		有・無	
防油堤	構造		容量	排水設備	
ポンプ設備の概要					
避雷設備					
配管					
消火設備		タンクの加熱設備			
工事請負者住所氏名					
電話					

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。

コメント [A1]: 事業の内容について具体的に記入

コメント [A2]: 引火点は、引火点を記入
貯蔵温度は、常温以外の状態のみ記入

コメント [A3]: 例：鉄筋コンクリート基礎（杭を〇〇本）
厚さ〇m
タンク下部アスファルトサンド等と記入

コメント [A4]: 各項目を次により記入
・形状→角型、縦置円筒型、横置円筒型等
・常圧・加圧の別→常圧、加圧に〇を付け加圧の場合圧力を記入
・寸法→内径、高さ、側板高さ、胴長、鏡出等を記入
・容量→〇〇Lと記入
・材質、板厚→胴・側・底・屋根それぞれ材質板厚を記入
・通気管→種別は無弁通気管又は大気弁通気管・数はタンクに設ける数・内径又は作動圧は内径及び作動圧をそれぞれ記入
・安全装置→圧力タンクに該当するタンクについて記入（減圧弁・破壊板等の数・作動圧）
・液量表示装置→フロート式液面指示計等を記入
・引火防止装置→有・無に〇を記入
・不活性気体の封入設備→設備等の概要を記入
・タンク保温材の概要→外面保温材等の材質、固定方法を記入

コメント [A5]: 位置：タンク西側〇mと記入
接地電極：有・無に〇を記入

コメント [A6]: 構造→鉄筋コンクリート造（高さ〇mm等）
容量→〇〇L
排水設備→構造を記入

コメント [A7]: ポンプ種類、基数を記入
別でポンプ室を設ける場合はその概要

コメント [A8]: 避雷設備の種類を記入
例：突針型〇本

コメント [A9]: 材質、口径、接続方法、防錆・防食方法を記入

コメント [A10]: ・消火設備→該当する消火設備を記入
・タンクの加熱設備→タンクに設置する加熱設備の概要を記入

コメント [A11]: 工事を請け負う法人の名称及び住所並びに工事責任者の氏名、電話番号を記入